

# オスプレイ飛行停止で騒音激減



米軍普天間基地に配備されているオスプレイ=2月28日、沖縄県宜野湾市

仁(たまり・まさひ)と知事公室長は、防衛省沖縄防衛局の自視調査の報告として、普天間基地での昨年12月のオスプレイ発着回数は、前年同月と比べて60%以上減少したと明らかにしました。県議会で日本共産党の、とぐち修議員の質問に答

## 再開記念の声

米国防総省が垂直離着陸機オスプレイの飛行停止を今週にも解除すると米メディアが一日报じたが、米軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)に海兵隊仕様のMV-22が配備されている沖縄では、「墜落の危険性や騒音・爆音が再び増すことへの懸念が広がっています。沖縄県議会ではオスプレイの飛行停止後、同基地の航空機の発着が大幅に減っているとの報道もされており、「飛行再開は絶対認められない」などの声が上がっています。

2月26日、県の漁政

11月29日、空軍仕様のC-130機だけでなく、すべてのオスプレイの機体の飛行を全世界で停止すると発表しました。

とくじゆ氏は県議会代表者間で、オスプレイの飛行停止以降の航空機の発着回数などを質問。漁知事公室長は、「オスプレイが再び頭上を低飛行する」となるため、他の団体にも呼び掛けて緊急の抗議集会を開きたいと新垣さんは話します。「オスプレイが再び頭上を低空で飛行する」となると、また私たちは心の片隅に恐怖を持ちながら生活をしなければならなくなる。住民の苦しみを「日々早く取

11月29日、空軍仕様のC-130機だけではなく、すべてのオスプレイの機体の飛行を全世界で停止すると発表しました。

同基地周辺の住民が米軍機の爆音を止めようを求めて裁判をたたかう「普天間基地爆音訴訟団」の新垣清涼原22が鹿児島県の屋久島で墜落。乗員8人が全員死亡したのを受け、米軍は2月6日に横田基地所属機C-130機だけではなく、すべてのオスプレイの機体の飛行を全世界で停止すると発表しました。

とくじゆ氏は県議会代表者間で、オスプレイの飛行停止以降の航空機の発着回数などを質問。漁知事公室長は、「オスプレイが再び頭上を低飛行する」となるため、他の団体にも呼び掛けたと説明しました。

とくじゆ氏は「他の航空機の飛行停止も求めるべきではないか」と強調。普天間基地そのものを即時運用停止すれば、日米両政府が強行する同基地の「県内移設」ではなく、基地の運用を停止する」と必要性を説いていました。